

【NEWS RELEASE】

2023 年 9 月 19 日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

男性従業員の育児参画の推進について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBCグループ」）は社会課題の一つである男性の育児参画推進のため、全男性従業員を対象に、グループ共通の目指す姿を掲げ、取組を強化いたします。

1. 取組の背景

SMBCグループはお客さま、およびステークホルダーと共に発展し、持続可能な社会の実現に貢献するために、Diversity, Equity & Inclusion をSMBCグループの「成長戦略そのもの」と位置づけ、グループ全体で推進しています。

また、SMBCグループは人種、国籍、年齢、性別、性的指向・性自認、宗教、信条、文化、障がい、キャリア、ライフスタイル等に拘らず、多様なバックグラウンドを持つ従業員が互いに尊重し合い、能力や個性を発揮して活躍できるように個々の状況に応じた公正な機会やリソースを提供することで、多様な視点を持つ革新的な組織を目指しています。

共働き世帯が増加している現代において、新たに男性育児休業の取得に関し目指す姿を設定することで、従業員が性別に関係なく、ライフスタイルに応じて仕事と家庭を両立し、働きがいを持って生き活きと働ける環境づくりをより一層加速させます。

2. 目指す姿

(1) 男性育児休業取得率：100%

(2) 男性育児休業日数/期間：平均 30 日以上取得（子の出生後 2 歳になるまでの期間）

（ご参考）主要グループ各社（※）の 2022 年度の男性育児休業取得率：89.0%

（※）株式会社三井住友銀行、株式会社SMBC信託銀行、三井住友ファイナンス&リース株式会社、SMBC日興証券株式会社、三井住友カード株式会社、SMBCファイナンスサービス株式会社、SMBCコンシューマーファイナンス株式会社、株式会社日本総合研究所、三井住友DSアセットマネジメント株式会社

3. 目指す姿に向けた取組

育児休業制度等の定期的な利用推奨やトップメッセージの発信、本人向け・マネジメント向けの男性の育児参画に関する研修コンテンツの充実、パートナーと参加するワークショップの開催等を通じて、従業員の意識改革・取得しやすい環境づくりに継続して取り組みます。また、主要グループ各社のメンバーで男性育児参画ワーキンググループを組成し、施策立案をはじめとした議論を行い、グループ一体で取組を加速させています。

加えて、今年度、SMB Cグループは積水ハウスグループが取り組んでいる「育休を考える日（9月19日）プロジェクト」に賛同しています。このプロジェクトが掲げる「日本でも男性の育児休業取得が当たり前になる社会」の実現に貢献してまいります。

19  **#育休を考える日**

公式サイト：<https://www.sekisuihouse.co.jp/ikukyu/>

以 上